

平成24年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年4月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ランシステム
 コード番号 3326 URL <http://www.runsystem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 濱田 文孝
 (氏名) 面高 英雄

TEL 03-6907-8111

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年6月期第3四半期の業績(平成23年7月1日～平成24年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第3四半期	5,482	△27.3	252	△40.5	305	△30.9	145	△46.7
23年6月期第3四半期	7,544	△3.2	423	—	442	564.8	271	142.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第3四半期	7,733.66	—
23年6月期第3四半期	14,501.89	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年6月期第3四半期	5,442		1,509		27.7	
23年6月期	4,776		1,363		28.5	

(参考) 自己資本 24年6月期第3四半期 1,509百万円 23年6月期 1,363百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年6月期	—	0.00	—		
24年6月期(予想)				0.00	0.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,650	△16.6	360	△11.6	370	△18.7	200	△8.7	10,663.25

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期3Q	19,059 株	23年6月期	19,059 株
24年6月期3Q	303 株	23年6月期	303 株
24年6月期3Q	18,756 株	23年6月期3Q	18,756 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
なお、業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、昨年3月11日に発生した東日本大震災の影響もあり、先行きが不透明なまま厳しい景況が続いております。

このような経営環境のもと、当社は「お客様満足度の更なる向上」「自遊空間店舗の出店」「自遊空間既存店の設備投資」「新規事業へのチャレンジ」「全社的なコストの最適化」を積極的に実施し、経営効率の向上に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,482百万円(前年同四半期比27.3%減)、営業利益は252百万円(同40.5%減)、経常利益は305百万円(同30.9%減)、四半期純利益は145百万円(同46.7%減)となりました。

売上高の主な変動要因は、平成22年12月6日に「桃太郎事業の一部譲渡に関するお知らせ」にて公表いたしました、自遊空間事業への経営資源集中及び財務体質の強化等を目的とした家庭用テレビゲーム販売店舗の一部譲渡等であり、このことにより、2,693百万円減少しております。一方、平成23年9月2日に「固定資産の取得に関するお知らせ」にて公表いたしました、株式会社ナムコが有していた複合カフェ店舗(知好楽)を買受け、当社が運営する複合カフェ「スペースクリエイト自遊空間」への転換をしたことにより、332百万円増加しております。

営業利益の主な減少要因は家庭用ゲーム販売店舗の一部譲渡、自遊空間既存店の設備投資及び株式会社ナムコが有していた、複合カフェ9店舗(知好楽)を買受け、当社が運営する複合カフェ、「スペースクリエイト自遊空間」への転換によるコスト計上のためであります。

事業ごとの状況は次のとおりであります。

<店舗運営事業>

①スペースクリエイト自遊空間

当事業につきましては、自遊空間の認知及び自遊空間ブランドの更なる向上に努めるとともに、ハイスペックPC、最新オンライン接続のダーツ機、最新機種のカラオケ機器等の店舗設備の強化や店内環境の整備を実施いたしました。加えて、お客様一人一人に合わせた心のこもったホスピタリティー研修の実施、マニュアルには無い高質なサービスを実施するための人材育成にも注力いたしました。

また、1,100万人以上の自遊空間会員のコミュニケーションを活性化するための新しいWEBサービスとして、自遊空間クリップを平成23年10月より直営店にて開始いたしました。

当第3四半期会計期間末時点では185店舗(直営店舗58、FC加盟店舗127)となりました。

②家庭用テレビゲーム販売店舗

主な取組事項につきましては、利益率の向上を目的とした中古商材の拡充(主にトレーディングカード)、新品商品の仕入れ数量等の見直し、販売価格の見直し、販促キャンペーン等需要の喚起を実施いたしました。

当第3四半期会計期間末時点では直営1店舗を運営しております。

③コミュニケーションクリエイト健遊空間

今期より展開する新しいコンセプトの店舗として、平成23年7月30日に群馬県太田市に「コミュニケーションクリエイト健遊空間太田の森」をオープンいたしました。

当店舗は、シニア・シルバー層を中心としてファミリーやキッズまで幅広い年齢層を対象とした全く新しいタイプの時間消費型店舗で、“健やかに遊ぶ”“世代を超えた交流”“地域活性化”をテーマとし、お一人様からご家族・ご友人の方々のご来店でもお気軽に遊べるよう、工夫を凝らした環境で運営しております。主なコンテンツとして、健康マージャン・カラオケ・キッズガーデンなどを取り入れています。

当社がスペースクリエイト自遊空間の運営を通して培ってきたノウハウを活かし、地域のお客様の憩いの場やコミュニケーション活性化の場として、地域や社会を豊かにすべく今後も注力して参ります。

当第3四半期会計期間末時点では直営1店舗を運営しております。

以上の結果、当事業全体の売上高は4,862百万円となりました。

<不動産賃貸事業>

当事業につきましては、不動産賃貸物件の適切な管理に注力し、計画通りの売上推移となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は358百万円となりました。

<その他事業>

その他事業として購買業務、システム外販業務及び主にシェアクリップによるメディア・広告業務を運営してお

ります。シェアクリップは自遊空間クリップに登録しているユーザーが店舗外でもコミュニケーション可能なツールとしてのWEBサービスとなります。

以上の結果、当事業全体の売上高は261百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、2,172百万円となり、前事業年度末に比べ509百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が449百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は3,270百万円となり、前事業年度末に比べ156百万円増加いたしました。これは主に、株式会社ナムコが有していた、複合カフェ9店舗（知好楽）を買受けたことなどによる有形固定資産68百万円の増加及び投資その他の資産81百万円の増加などによるものであります。

この結果、総資産は、5,442百万円となり、前事業年度末に比べ666百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、2,032百万円となり、前事業年度末に比べ426百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が250百万円増加したこと、1年内償還予定の社債が99百万円増加したことなどによるものであります。

固定負債は1,900百万円となり、前事業年度末に比べ93百万円増加いたしました。これは主に、社債が153百万円減少したものの、長期借入金が250百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、3,932百万円となり、前事業年度末に比べ520百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、1,509百万円となり、前事業年度末に比べ145百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が145百万円増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、27.7%（前事業年度末は28.5%）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想については、景気の後退が顕著となっているわが国の経済状況の中、今後の出店計画や店舗売上高に与える影響などの不確定要因があるため、現時点においては前回予想通りとし、修正は行っておりません。なお、数値が確定した結果、適時開示基準に該当し、開示の必要がある場合には速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,050,572	1,500,394
売掛金	157,847	211,885
商品及び製品	178,229	182,240
仕掛品	—	8,005
原材料及び貯蔵品	18,926	22,470
その他	266,973	257,910
貸倒引当金	△10,041	△10,812
流動資産合計	1,662,509	2,172,094
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	874,850	961,853
車両運搬具（純額）	16	4
工具、器具及び備品（純額）	208,989	213,153
土地	947,294	947,294
建設仮勘定	22,698	—
有形固定資産合計	2,053,849	2,122,306
無形固定資産		
のれん	28,381	21,832
その他	41,573	55,117
無形固定資産合計	69,955	76,949
投資その他の資産		
敷金	754,921	853,939
その他	275,042	253,712
貸倒引当金	△39,992	△36,667
投資その他の資産合計	989,971	1,070,984
固定資産合計	3,113,776	3,270,239
資産合計	4,776,285	5,442,334

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	191,800	175,887
短期借入金	300,000	550,000
1年内償還予定の社債	86,800	186,400
1年内返済予定の長期借入金	624,988	662,875
未払法人税等	47,713	133,684
引当金	—	17,400
その他	354,188	305,826
流動負債合計	1,605,490	2,032,072
固定負債		
社債	203,000	50,000
長期借入金	1,157,606	1,407,780
資産除去債務	146,782	162,833
その他	299,931	280,260
固定負債合計	1,807,319	1,900,873
負債合計	3,412,810	3,932,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	753,814	753,814
資本剰余金	792,059	792,059
利益剰余金	△158,482	△13,430
自己株式	△23,969	△23,969
株主資本合計	1,363,422	1,508,474
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	53	913
評価・換算差額等合計	53	913
純資産合計	1,363,475	1,509,387
負債純資産合計	4,776,285	5,442,334

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年7月1日 至平成23年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年7月1日 至平成24年3月31日)
売上高	7,544,543	5,482,798
売上原価	5,960,660	4,481,095
売上総利益	1,583,882	1,001,703
販売費及び一般管理費	1,160,490	749,637
営業利益	423,392	252,066
営業外収益		
受取利息	2,977	3,004
販売手数料収入	65,992	79,251
その他	2,525	4,911
営業外収益合計	71,496	87,167
営業外費用		
支払利息	46,194	31,732
その他	6,454	1,926
営業外費用合計	52,648	33,659
経常利益	442,240	305,574
特別利益		
固定資産売却益	1,017	137
事業譲渡益	60,103	—
特別利益合計	61,121	137
特別損失		
固定資産売却損	835	—
固定資産除却損	2,761	1,203
店舗閉鎖損失	11,289	—
店舗売却損	9,107	—
減損損失	45,311	11,790
解約違約金	12,645	—
災害による損失	11,013	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	62,207	—
特別損失合計	155,172	12,993
税引前四半期純利益	348,188	292,718
法人税等	76,190	147,665
四半期純利益	271,997	145,052

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。